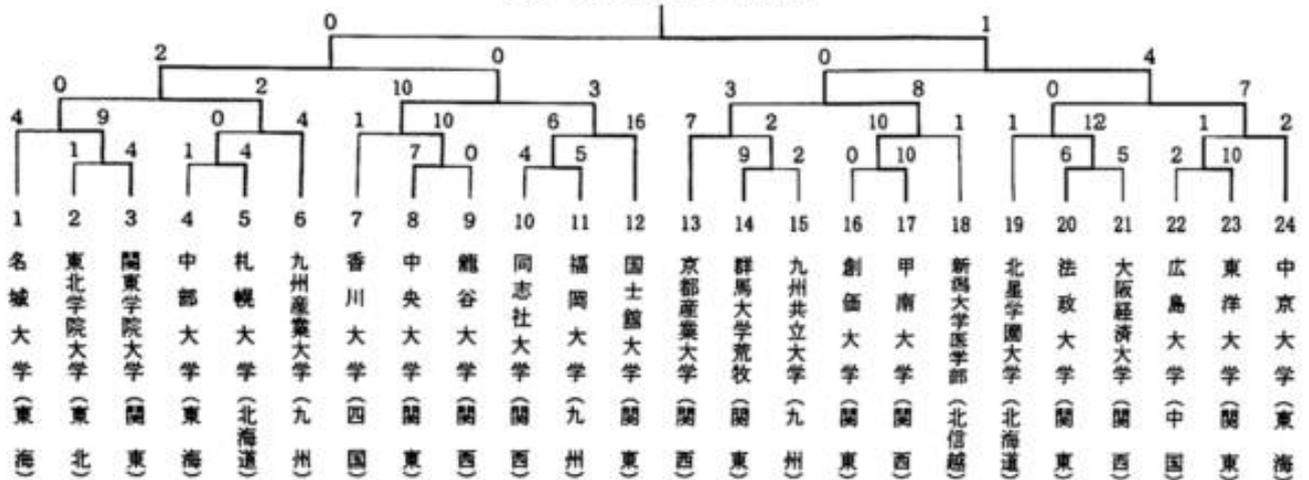


第70回全日本大学選抜準硬式野球選手権大会

会期：平成30年8月19日(日)～25日(土)

会場：浜松球場、浜北球場、天竜球場、菊川球場

優勝：中京大学 (12年ぶり9回目)



◎H30年8月20日 天竜球場

創価大学 0000000 | 0
甲南大学 0010306x | 10

(7回コールド)

(創価) 岸添-田中

(甲南) 大地-川田

☆二塁打 井上・黒田 (創価)

首藤・石原 (甲南)

(戦評) 機動力と勝負強さが光った甲南大が初戦を大勝した。また2年生エース大地は、甲南大の今大会の行方を握る投手と見えた。

創価大学	打	安	点	振	球
(遊) 黒田	3	1	0	0	0
(指) 道下	1	0	0	0	0
打 豊岐	0	0	0	0	1
走 吉田	1	0	0	1	0
(中) 森脇	3	1	0	1	0
(捕) 田中	3	0	0	0	0
(左) 東海林	2	0	0	0	1
(二) 井上	3	1	0	0	0
(一) 坊	2	0	0	2	0
一 笠原	0	0	0	0	0
打・一 氏家	0	0	0	0	1
(三) 徳安	2	0	0	0	0
打・三 牛山	1	2	0	1	0
(右) 淵上	0	0	0	2	0
計	21	5	0	7	3

甲南大学	打	安	点	振	球
(二) 大嶋	5	1	0	0	0
(中) 石原	4	2	2	0	1
(左) 山形	3	2	1	1	0
(指) 首藤	4	2	2	1	0
(一) 遠藤	4	1	0	0	0
(捕) 川田	3	1	1	0	1
(三) 吉岡	1	1	1	0	2
(右) 小田	3	0	1	2	1
(遊) 小宮崎	3	1	1	1	1
計	30	11	9	5	6

投手	回	打	安	三	四	責
大地		26	5	7	3	0

投手	回	打	安	三	四	責
岸添	7	43	11	5	6	10

◎H30年8月21日 浜松球場

新潟大学医学部 000000100 | 1
甲南大学 40021120x | 10

(新潟) 中村-小川

(甲南) 笈西・林田・奥野-川田・荻野

(戦評) 甲南大は、1番から4番でチャンスをものにしたことでこの試合を初回に決める展開となった。また、先発の1年生投手笈西の力投が実った。

新潟大学医学部	打	安	点	振	球
(指)・役 加賀田	4	1	0	0	0
(一) 宮下	3	1	0	0	0
(中) 関	4	0	0	1	0
(左) 佐竹	3	1	0	0	1
(右) 阿部	4	1	0	2	0
(捕) 小川	4	0	0	0	0
(三) 川北	3	0	0	1	0
(二) 吉田	3	1	0	0	0
(遊) 安藤	2	1	1	0	1
計	30	6	1	4	2

投手	回	打	安	三	四	責
中村	9	42	10	1	8	10

甲南大学	打	安	点	振	球
(二) 大嶋	4	1	0	0	1
(中) 石原	3	1	2	1	2
(左) 山形	4	2	1	0	1
走・左 嶋田	0	0	0	0	0
(指) 首藤	4	1	3	0	1
(一) 遠藤	4	0	0	1	1
(捕) 川田	3	0	1	0	1
打 橋	1	0	0	0	0
(三) 吉岡	3	1	1	0	0
打 三重野	1	1	1	0	0
走 片岡	0	0	0	0	0
三 建畑	0	0	0	0	0
(右) 小田	3	1	0	0	0
打 日出	1	1	1	0	0
(遊) 宮崎	2	0	0	0	1
打 日野	1	0	0	0	0
遊 下根	0	0	0	0	0
計	34	9	10	2	8

投手	回	打	安	三	四	責
笈西	5	19	2	4	2	0
林田	3	11	4	1	0	1
奥野	1	3	1	0	0	0

第70回全日本大学選抜準硬式野球選手権大会

©H30年8月22日 浜北球場

京都産業大学	000000120	3
甲南大学	10510010x	8
(京産) 吉井・山下・木村-土井・藤野		
(甲南) 大地-川田		
☆本塁打 木部(京産)		
☆二塁打 藤野(京産)		
山形(甲南)		

(戦評) 終盤、京産大木部のホームランや味方のエラーで京産大は一時逆転の状況を描みかけたが、甲南大2年生エース大地が意地の投球で試合を締めくくった。

京都産業大学	打	安	点	振	球
[右]	中林 紘夢	4	0	0	0
打	福井 駿	1	1	0	0
走・遊	笠丸虎之介	0	0	0	0
[遊]	磯野 幹大	4	2	0	1
中	前田 大地	0	0	0	0
[三]	西村 昂	4	3	1	0
[一]	上村 直輝	5	0	0	0
[中]・右	高野 航平	5	0	0	2
[捕]	土井 敬太	4	0	0	0
走	黒川 開斗	0	0	0	0
捕	藤野 太陽	1	0	0	0
[指]	河合 壮丈	3	0	0	0
打	木部雄一朗	1	1	2	0
[左]	黒川 弘輝	4	1	0	0
[二]	井上 智輝	4	1	0	0
計		40	9	3	2

投手	回	打	安	三	四	責
吉井駿央佑	2 1/3	15	2	2	6	3
山下 晴樹	4 2/3	27	5	3	6	2
木村 悠斗	1	3	0	0	0	0

甲南大学	打	安	点	振	球
[二]	大嶋 雅人	2	2	0	0
[中]	石原 涼雅	4	2	0	0
[左]	山形 善人	3	2	1	1
[指]	首藤 太成	3	0	1	0
[一]	遠藤 颯也	3	0	1	1
[捕]	川田 夏輝	3	0	1	1
[三]	吉岡 宏英	4	0	0	0
[右]	小田雄太郎	3	0	0	2
[遊]	宮崎 実英	4	1	0	0
計		29	7	4	5

投手	回	打	安	三	四	責
大地 真弘	9	42	9	2	2	1

©H30年8月23日 浜北球場

中京大学	000040000	4
甲南大学	000000000	0
(中京) 大地-川田		
(甲南) 松井・速水-牧		
☆三塁打 村上(中京)		
☆二塁打 大塚(中京)		

(戦評) 本大会勢いに乗る甲南大学2年生エース大地は、雨の影響からいつもの投球が出来ず敗戦した。勝利した中京大学は12年ぶり9回目の優勝を明日狙う。

中京大学	打	安	点	振	球
[左]	大塚 広樹	4	2	1	2
左	渡邊 将貴	0	0	0	0
[遊]	石原 拓朗	2	1	1	0
[指]	上原 将大	3	0	0	1
[三]・一	村上 恭平	3	1	2	0
[右]	山崎 由恒	4	0	0	1
[捕]	牧 峻介	4	0	0	3
[一]	拓植 勇人	4	1	0	1
三	成瀬 俊樹	0	0	0	0
[二]	倉地 研翔	3	0	0	1
[中]	岸本 八織	1	0	0	1
中	原 大毅	2	0	0	1
計		30	5	4	11

投手	回	打	安	三	四	責
松井 大河	8	32	5	7	2	0
速水 大貴	1	6	3	0	0	0

甲南大学	打	安	点	振	球
[二]	大嶋 雅人	5	1	0	0
[中]	石原 涼雅	5	1	0	1
[左]	山形 善人	3	0	0	1
[指]	首藤 太成	3	0	0	0
[一]	遠藤 颯也	4	1	0	1
[捕]	川田 夏輝	4	2	0	0
[三]	吉岡 宏英	3	1	0	1
打	日野 裕輔	1	0	0	0
[右]	小田雄太郎	4	1	0	1
[遊]	宮崎 実英	1	0	0	1
打	目出 紘也	1	0	0	1
遊	建畑 直希	2	1	0	0
計		36	8	0	7

投手	回	打	安	三	四	責
大地 真弘	9	36	5	11	3	4

2018年

春季リーグ戦

◎2018年3月15日 明石トーカロ球場

兵庫県立大学神戸校 00000 | 0
甲南大学 02215 | 10

(5回コールド)

(兵神戸) 金光-錦織
(甲南大) 林田・奥野-川田
☆二塁打 川田・石原(甲)

(戦評) 二回に先制した甲南大学は、その後も四球、ヒット、エラーで兵庫県立大学を突き放し、五回に五点を追加しコールドゲームで勝利しました。

◎2018年3月24日 ベイコム野球場

近畿大学 10020111 | 6
甲南大学 10100000 | 2

(8回コールド)

(近畿大) 石橋-高橋
(甲南大) 大地・渡邊-川田
☆二塁打 朝田(近)、首藤(甲)

(戦評) 前半戦シーソーゲームとなったこの試合の均衡を破ったのは近畿大学。六回七回八回にタイムリーヒットで1点ずつ追加し、近畿大学が突き放し勝利しました。

◎2018年4月14日 ベイコム野球場

甲南大学 400103000 | 8
神戸市外国語大学 001020100 | 4

(甲南大) 佐々木・奥野・右代谷・渡邊-谷口・川田・萩野

(神外大) 佐藤・大坂-藤井

☆本塁打 小田(甲)

☆三塁打 山形(甲)

☆二塁打 石原・須谷・水無瀬(甲)

(戦評) 初回、甲南は小田のホームランを含め、4点を先制するが、神外大は3回、5回に計3点を加え追い上げる。それでも、6回に甲南が3点を加え、8対4で甲南が勝利した。

◎2018年4月27日 明石トーカロ球場

甲南大学 112000011 | 6
近畿大学 101010000 | 3

(甲南大) 奥野・市川・渡邊-川田

(近畿大) 石橋・田中走・小林-高橋

☆本塁打 山形・吉岡(甲)

☆二塁打 石坂・松下・黒木(近)

(戦評) 序盤シーソーゲームとなり、中でも甲南大山形はホームランを放つ。八回甲南大吉岡のソロホームランが決め手となり6-3で甲南大の勝利。

◎2018年3月17日 ベイコム野球場

神戸市外国語大学 01000 | 1
甲南大学 6213x | 12

(5回コールド)

(神外大) 大坂・西・水無瀬・大坂-伊藤
(甲南大) 渡邊・市川-川田

☆二塁打 首藤(甲)、佐藤(神)

(戦評) 初回に打者一巡の猛攻で甲南大学が六点を先制します。神外大は二回に一点を返しますが、その後、甲南大学が突き放しコールドゲームで勝利しました

◎2018年4月9日 明石トーカロ球場

甲南大学 98038 | 28
兵庫県立大学神戸校 00000 | 0

(5回コールド)

(甲南大) 奥野・渡邊-川田

(兵神戸) 金光-錦織

☆三塁打 首藤(甲)

☆二塁打 大嶋・石原2・川田・下根(甲)

(戦評) 初回から6安打9得点と大量得点を奪った甲南大が快勝した。兵庫県立大学神戸校は甲南大先発の奥野、2番手の渡邊に対し2安打無得点と打線が繋がらなかった。

◎2018年4月20日 ベイコム野球場

甲南大学 000000010 | 1
大阪経済大学 00000002x | 2

(甲南大) 大地-川田

(大経大) 千葉・崎山-関

(戦評) 8回表、悪送球の間に先制。8回裏、谷口、三村がヒットで出塁し、原口のタイムリーで2点。大経大の勝利。

◎2018年3月19日 大阪シティ信用金庫スタジアム

大阪経済大学 000002002 | 4
甲南大学 000010000 | 1

(大経大) 小路・崎山-関

(甲南大) 大地-川田

☆二塁打 関(大)

(戦評) 五回に甲南大学が先制しますが、続く六回に米田、関のタイムリーヒットで逆転します。九回に二点を追加した大阪経済大学が接戦を制し、勝利しました。

◎2018年4月12日 ベイコム野球場

甲南大学 300200000 | 5
和歌山大学 000200000 | 2

(甲南大) 大地-川田

(和大) 吹本・奥村・西山・箕浦-西側

☆二塁打 石原2・山形(甲)

(戦評) 1回表、甲南大は4番山形の2点適時打などで一挙に3点を奪う。途中、和大も元山の適時打などで反撃を見せたが、甲南大が最後までリードを守り切った。

◎2018年4月26日 明石トーカロ球場

和歌山大学 000000 | 0
甲南大学 213202 | 10

(6回コールド)

(和大) 中川・箕浦・元山-元山・吹本

(甲南大) 大地・市川・渡邊-萩野

☆二塁打 遠藤・萩野(甲)

(戦評) 終始優勢に進めたのは甲南大学。五回以外の回で得点し、計10得点します。一方、和歌山大学は甲南大学の投手陣にヒット1本に抑えられ、完敗。

春季リーグ戦

	大経大	近畿大	甲南大	和 大	神外大	兵神戸	勝 敗	勝点
大阪経済大学		○2-0 ○6-0	○4-1 ○2-1	●2-4 ○13-1	○7-0 ○16-0	○12-1 ○11-0	9勝1負	分 27
近 畿 大 学	●0-2 ●0-6		○6-2 ●3-6	○3-2 ○2-0	○4-2 ○13-0	○12-0 ○11-1	7勝3負	分 21
甲 南 大 学	●1-4 ●1-2	●2-6 ○6-3		○5-2 ○10-0	○12-1 ○8-4	○10-0 ○28-0	7勝3負	分 21
和 歌 山 大 学	○4-2 ●1-13	●2-3 ●0-2	●2-5 ●0-10		○7-3 ○10-3	○6-5 ○18-13	5勝5負	分 15
神戸市外国語大学	●0-7 ●0-16	●2-4 ●0-13	●1-12 ●4-8	●3-7 ●3-10		●0-11 ○4-0	1勝9負	分 3
兵庫県立大学 神 戸 校	●1-12 ●0-11	●0-12 ●1-11	●0-10 ●0-28	●5-6 ●13-18	○11-0 ●0-4		1勝9負	分 3

※近畿大学と甲南大学は勝ち点が同点の為、抽選となりました。

※神戸市外国語大学と兵庫県立大学 神戸校は勝ち点が同点の為、同五位となります。

◎ベストナイン

投 手	崎山 颯人	大阪経済大学
捕 手	関 真	大阪経済大学
一塁手	谷口 誠人	大阪経済大学
二塁手	原口 心	大阪経済大学
三塁手	大嶋 雅人	甲南大学
遊撃手	黒木 龍二	近畿大学
外野手	山形 善人	甲南大学
外野手	米田 直樹	大阪経済大学
外野手	畠野 悠実	近畿大学

◎打撃十傑

1	山形 善人	甲南大学	0.513	3-20
2	錦織 拓人	兵庫県立大学神戸校	0.448	3-13
3	石原 涼雅	甲南大学	0.439	4-18
4	畠野 悠実	近畿大学	0.423	3-11
5	久次米勇輝	兵庫県立大学神戸校	0.419	3-13
6	川辺 蒼	近畿大学	0.407	3-11
7	原口 心	大阪経済大学	0.389	8-7
8	三村 亮太	大阪経済大学	0.379	3-11
9	米田 直樹	大阪経済大学	0.375	2-12
10	中川 真之介	和歌山大学	0.370	3-10

◎個人表彰

最高殊勲選手	崎山 颯人	大阪経済大学
最優秀投手	崎山 颯人	大阪経済大学
最多勝利	崎山 颯人	大阪経済大学
	6勝	
最多奪三振	石橋 拓也	近畿大学 30個
首位打者	山形 善人	甲南大学
	0.513	
最多打点	山形 善人	甲南大学 12点
最多盗塁	米田 直樹	大阪経済大学
	10個	
最多盗塁	畠野 悠実	近畿大学 10個
敢闘賞	山形 善人	甲南大学
新人賞	該当者なし	

2018年

秋季リーグ戦

◎2018年9月13日 明石トーカロ球場

甲南大学 100000010 | 2
大阪経済大学 033000000 | 6

(甲南) 笈西・林田・奥野・萩野

(大経) 崎山・龍神・橋本

☆三塁打 宮内(甲南)

☆二塁打 崎山・中口(大経)

(戦評) 甲南大は1回石原の犠飛、8回山形の適時打で2点を先制。大経大は2回崎山の適時打で3点、三回にも橋本、小川、崎山の適時打で3点をとり、6対2で大経大が勝利した。

◎2018年10月1日 ベイコム野球場

近畿大学 200000030 | 5
甲南大学 002000000 | 2

(近大) 田中・小林・石橋・高橋

(甲南) 笈西・林田・奥野・萩野

☆三塁打 宮内(甲南)

(戦評) 両チームとも序盤に得点するが、それ以降は全く点が入らず均衡した試合展開になった。試合が動いたのは8回、打線が繋がった近畿大が一挙3点を挙げ勝利した。

◎2018年10月9日 寝屋川第一球場

大阪経済大学 202000020 | 6
甲南大学 000000000 | 0

(大経) 崎山・龍神・橋本

(甲南) 笈西・林田・奥野・萩野

☆二塁打 小川・幹立(大経)

(戦評) 大経大は1回関岡の四球、谷口の適時打で2点をとり、3回、6回にも王村、関岡の適時打でそれぞれ2点を追加。対する甲南大は無失点に終わり、6対0で大経大が勝利した。

◎2018年10月19日 久宝寺緑地硬式野球場

兵庫県立大学神戸校 02001000 | 3
甲南大学 30110005 | 10

(8回コールド)

(兵神戸) 近藤・金光・神田

(甲南) 奥野・佐々木・小林・萩野

☆二塁打 山本(兵神戸)

山形×2(甲南)

(戦評) 序盤から点の取り合いが続き、両チーム油断のできない試合展開となった。試合が決まったのは8回、安打や相手のミスで甲南大が5得点を挙げ、コールドゲームとなった。

◎2018年9月18日 ベイコム野球場

神戸市外国語大学 00000011 | 2
甲南大学 60001000 | 7

(規定により8回終了)

(神外大) 佐藤・笹矢・藤井

(甲南) 林田・泉・奥野・下根・萩野

☆二塁打 萩野・山形(甲南)

(戦評) 甲南大は初回から一挙6点を先制し、試合を有利に進める。対する神外大は、終盤に1点ずつを返すも初回の大量失点が響き、甲南大が逃げ切る形で勝利した。

◎2018年10月4日 明石トーカロ球場

甲南大学 000050000 | 5
神戸市外国語大学 000002000 | 2

(甲南) 奥野・林田・萩野

(神外大) 佐藤・林田・藤井

☆二塁打 大嶋・石原・山形・吉岡(甲南)

佐藤(神外大)

(戦評) 甲南大は5回、満塁の場面で4番山形が走者一掃の二塁打を放つなど、打線が繋がって5得点を先制する。投げては奥野、林田が神外大を2点に抑え、5対2で甲南大が勝利した。

◎2018年10月11日 大阪シティ信用金庫スタジアム

甲南大学 104200000 | 7
兵庫県立大学神戸校 000100200 | 3

(甲南) 奥野・佐々木・泉・林田・萩野・

田中

(兵神戸) 金光・神田

☆三塁打 神田・西澤(兵神戸)

☆二塁打 宮内(甲南)

今井(兵神戸)

(戦評) 甲南大は初回、山形の適時打で先制する。3回にもチャンスを作り、萩野の適時打で追加点を挙げた。兵神戸は、神田の長打と今井の適時打で追いついたが、及ばなかった。

◎2018年9月26日 明石トーカロ球場

甲南大学 50005 | 10
和歌山大学 00000 | 0

(5回コールド)

(甲南) 笈西・萩野

(和大) 西山・西側

(戦評) 一回表に甲南大が石原、山形らの適時打で一挙5点を取り先制。初回以降は両チーム共無得点が続いたが、五回表に再び5点を追加し甲南大が5回コールドで勝利した。

◎2018年10月7日 甲南大学グラウンド

甲南大学 000000000 | 0
近畿大学 000000020 | 2

(甲南) 奥野・林田・萩野

(近大) 田中走・小林・高橋・高橋

☆二塁打 首藤(甲南)

石坂×2(近大)

(戦評) 両チームともチャンスを作るも、あと1本が出ず均衡した展開が続く中、8回裏に近畿大の番野がタイムリーを放つ。これが決勝点となり、近畿大が2対0で勝利を収めた。

◎2018年10月17日 明石トーカロ球場

和歌山大学 002000 | 2
甲南大学 260022 | 12

(6回コールド)

(和大) 西側・吹本・中川・小谷

(甲南) 林田・佐々木・萩野

☆三塁打 西山(和大)

目出(甲南)

☆二塁打 西山(和大)

山形×2・目出・萩野(甲南)

(戦評) 1回裏に甲南大が2点を先制し、試合の流れを作る。対する和日は3回に2点を返すが、甲南大の打線が止まらず点差が広がっていき、6回コールドで甲南大が快勝した。

2018年

秋季リーグ戦

	近畿大	大経大	甲南大	兵庫大	和 大	神外大	勝 敗	勝点
近 畿 大 学		○3-2 ○5-1	○5-2 ○2-0	○17-1 ○6-2	○7-1 ○10-0	○11-1 ○4-2	10勝0負0分	20
大阪経済大学	●2-3 ●1-5		○6-2 ○6-0	○6-0 ○6-3	○12-0 ○7-0	○3-0 ○7-0	8勝2負0分	16
甲 南 大 学	●2-5 ●0-2	●2-6 ●0-6		○7-3 ○10-3	○10-0 ○12-2	○7-2 ○5-2	6勝4負0分	12
兵庫県立大学 神 戸 校	●1-17 ●2-6	●0-6 ●3-6	●3-7 ●3-10		●2-4 ○7-0	○5-3 △5-5	2勝7負1分	5
和 歌 山 大 学	●1-7 ●0-10	●0-12 ●0-7	●0-10 ●2-12	○4-2 ●0-7		●2-12 ○5-2	2勝8負0分	4
神戸市外国語大学	●1-11 ●2-4	●0-3 ●0-7	●2-7 ●2-5	●3-5 △5-5	○12-2 ●2-5		1勝9負1分	3

◎ベストナイン

投 手 崎山 颯人 大阪経済大学
 捕 手 萩野 伸哉 甲南大学
 一塁手 西村 佑太 近畿大学
 二塁手 石坂 晃己 近畿大学
 三塁手 川辺 蒼 近畿大学
 遊撃手 黒木 龍二 近畿大学
 外野手 山形 善人 甲南大学
 外野手 鉾立 侑樹 大阪経済大学
 外野手 益野 悠実 近畿大学

◎打撃十傑

1 西村 佑太 近畿大学 0.561 41-23
 2 石坂 晃己 近畿大学 0.459 37-17
 3 黒木 龍二 近畿大学 0.447 38-17
 4 山形 善人 甲南大学 0.429 35-15
 5 益野 悠実 近畿大学 0.394 33-13
 6 西山 泰仙 和歌山大学 0.391 23-9
 7 笹矢 希裕 神戸市外国語大学 0.387 31-12
 8 鉾立 侑樹 大阪経済大学 0.378 37-14
 9 中口 大樹 大阪経済大学 0.364 33-12
 10 谷口 誠人 大阪経済大学 0.344 32-11

◎個人表彰

最高殊勲選手 西村 佑太 近畿大学
 最優秀投手 崎山 颯人 大阪経済大学
 0.58
 最多勝利 該当者なし
 最多奪三振 金光 海威 兵庫県立大学神戸校
 31個
 首位打者 西村 佑太 近畿大学
 0.561
 最多打点 西村 佑太 近畿大学 15点
 最多盗塁 鉾立 侑樹 大阪経済大学
 10個
 益野 悠実 近畿大学 10個
 敢闘賞 崎山 颯人 大阪経済大学
 新人賞 石坂 晃己 近畿大学

2018年

思い出



2018年

思い出

平成30年度卒業生の川田夏輝と申します。卒業してもうすぐ3年になりますが、大学時代の日々は今になっても思い出します。大学時代1番の思い出は、最後の全日でベスト4になれたことです。先輩からは「川田の代は厳しそうやな」と言われてきましたが、全員で努力し、ブロック戦からの厳しい戦いを勝ち抜き、全日ベスト4という結果を残すことができました。

負けた時には、もうこのメンバーで野球ができないんだなという思いが込み上げてきた事を思い出します。

みんなと過ごした4年間は長いようで短く、監督、コーチ、先輩、後輩に恵まれた準硬生活でした。特に同期の13人には本当に感謝しています。

今はみんな様々な場所で頑張っていると思いますが、また全員で集まりましょう。

人生最高の思い出をありがとう。

2019年（平成31年卒）川田 夏輝

